

## 第2学年2組 道徳学習指導案

場所 2年2組教室

1 主題名 よくないと思うことは A善悪の判断, 自律, 自由と責任 (1時間完了)  
 教材名「どうしよう」 出典「きみが いちばん ひかるとき」 光村図書

2 本時のねらい

花瓶を割った友達を偶然見かけた主人公が, 迷う姿を通して, 友達のよくないことを見聞きしたときに, よいと思うことを進んで行おうとする判断力や心情を育てる。

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 よくないと思うことを見た経験について想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>自分の経験を振り返ることで, 自分事として, 本時の方向付けを行う。</u></li> <li>・ 課題を板書する。</li> </ul>
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     ともだちのよくないことを見たり聞いたりしたとき, どうしたらいいのだろう。                 </div>	
展開 (28)	3 友達が花瓶を割ってしまったゆかちゃんと, それを見た「わたし」の気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆかちゃんはないしょにしようと思ったんじゃないかな。</li> <li>・ ゆかちゃんがそのままにしたからいいよね。</li> <li>・ わたしが黙っていればばれないかな。</li> </ul> </div> 4 あなたが「わたし」だったら, この後, ゆかちゃんにどのような行動をとるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正直に言わないと誰かが怪我をすることもかもしれないから。</li> <li>・ ゆかちゃんもわざとではないから何も言わないであげる。</li> <li>・ 言ったほうがいいけど, 友達が悲しむのはいやだから。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材の内容を把握しやすくするために, 紙芝居にして紹介する。</li> <li>・ 「花瓶を割ってしまったゆかちゃんは, このときどんな気持ちでしょう。」</li> <li>・ 「ゆかちゃんが花瓶を割ったところを見たわたしはどんな気持ちでしょう。」</li> <li>・ ワークシートに言う・言わない・迷うの3つから選び, 考えを書くように指示する。</li> <li>・ 机間指導しながら児童の考えを把握する。ゆかちゃんの気持ちに寄り添って, 自分がよいと思う行動を考えている児童を称賛する。</li> <li>・ ネームプレートで立場を明らかにした上で, 意見交流を行うよう促す。</li> </ul>
整理 (10)	5 本時から考えたことや学んだことを生かし, もし友達がよくないことをしていたとき, どうしていきたくないか考え, 学級全体で共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正しいことを考えて動く。</li> <li>・ 相手のことも考えるといいと思う。</li> <li>・ いろんな方法を考える。</li> <li>・ 声をかける。</li> </ul> </div>	

4 評価

主人公の行動を考えたり, 友達の意見を聞いたりすることを通し, よくないと思うことを見聞きしたときに, 大切なこととは何か考えることができたか。(活動4・5から)